44

44

別表第三

關東上陸地支局

昭和四十一年三月二十八日

史實調査參考資料報告

所屬部隊（固有名）	第十野戰氣象隊	職官	陸軍少尉	摘要
仝右所在地	台湾 台北	氏名	[redacted]	終戰時ノモノヲ記ス

支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歷

昭和十九年四月仙台陸軍報道部ニ勤務ス。同年十月陸軍氣象部附ヲ命ゼラル。同年一月第十野戰氣象隊第三中隊付ニ補セラル。二月ヨリ沖縄ニテ戰闘ス。

職ノ變更及主ナル參加戰闘名ヲ記ス

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

第十野戰氣象隊ニ昭和二十年三月陸軍氣象部ヨリ改編セラル。編制、將校（第三中隊トシテ）四、淳尉二、下士三、兵隊一二、苦力二十名。裝備、兵ノ小銃十二ノミ。其他無線器、氣象機械

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ尚ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス

所屬部隊作戰經過ノ概要

南西地方ノ氣象業務ニ従事シ、殊ニ陸後ハ首里ニ於テ氣象勤務、後長堂ニ移転、後島尻喜屋武ニ移転、其ノ間無線ヲ以テ台北及九州福岡ニ報告シ氣象ノ通報ヲ持交隊ノ防衛ニ協力ス。六月十日ヨリ石部隊編入命令ニ接シ

終戰（又ハ主力ノ戰闘終了）後ノ概況

六月二十日頃弾薬ト共ニ我地ニ残置ハ陸長ヲ同須実破ノ命ニヨリ予定ノ通リ年筆ニ収容セラレ業務ニ引ヤリ沖縄ヨリ帰還

歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス

歸郷（又ハ連絡）先

[redacted]

其ノ他ノ參考事項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

46

46

別表第三

史實調査參考資料報告

關東上陸地支局　昭和二十一年三月二十八日

所屬部隊（固有名）	第十野戰貨物廠	職官	陸軍少尉
氏名	[redacted]		
企右所在地	台湾　台北		

支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歷

昭和十九年十月三十一日第一貨物廠ヨリ第十野戰貨物廠ニ轉勤ス
昭和二十年一月二十日附陸軍貨物廠ヨリ第十野戰貨物廠附ニ轉勤ス
昭和二十年一月二十三日附第十野戰貨物廠ヨリ沖縄ニ於ケル三月ヨリ沖縄ニ於ケル戰闘ニ參加ス

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

昭和二十年三月陸軍貨物廠ヨリ第十野戰貨物廠ニ改編ス
第十野戰貨物廠ノ編制概要
特殊（第三中隊トシテ）四、進駐ニ下ニ
兵隊十二、
裝備　兵ノ小銃十二、
其他無線機各貨物機械
南西諸島方面ノ貨物輸送業務ニ服務

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ尚ソノ以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ概記ス

所屬部隊作戰經過ノ概要

上陸後ハ首里ニ於テ貨物業務ニ服務
長堂ニ移動
其後島尻、喜屋武ニ移動ス
第百兵隊ヲ以テ台北、各地ノ警備ニ移動ス
機密貨物ヲ通報ス
協力ス
六月十日ヨリ石部隊ニ編入合流
一部ニテ第十八軍ニ

終戰（又ハ主力ノ戰闘終了）後ノ概況

六月二十日頃隊員ノ大半戰死
殘員ハ隊長ヨリ國頭突破ノ命ヲウケ
國頭方面ニ突破ス
米軍ニ收容セラル
米軍ニ收容セラレ
沖縄ヨリ本土ニ歸還

歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス

歸郷（又ハ連絡）先

[redacted]

其ノ他ノ參考事項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

摘要

終戰時ノモノヲ記ス

職ノ變更及主ナル參加戰闘名ヲ記ス

53

陸軍

一四、四、六、迄

陸軍

陸軍兵士

史実調査参考資料報告

昭和　年　月　日

所在地	沖縄県宮古島	職官	陸軍少尉	氏名	[redacted]
所属部隊	第一野戰気象隊				

支那事変以降ニ於ケル自己ノ略歴	昭和十年十二月十九日陸軍気象部ニ転属同日教育隊附 昭和十九年五月十日陸軍気象部第二課ヲ経テ第一野戰気象隊附 昭和十九年七月一日任陸軍少尉 昭和十九年七月十日宮古島気象観測所長ニ補ス爾後台湾ノ北島不面空輸ニ関シ第十野戰気象隊編成完結同日第十野戰 昭和二十年三月二十四日第十野戰気象隊宮古島小隊長ヲ命ス	所属部隊ノ編成年月日及編制装備ノ概要	第十野戰気象隊 昭和十年三月二十四日編成 隊長中佐、台湾ニ中隊南西諸島ニ中隊 宮古島小隊 編成 将校ノ下士官、兵八、軍属十六、 庶務ノ分隊[redacted]予報分隊、観測分隊通信分隊 装備 野外測候具式、試験特殊電信機ニ式 地ニ平坦線材一枚 小銃八、九〇式軍刀二	所属部隊作戰経過ノ概要	宮古島気象観測所 昭和十七年八月陸軍台湾及比島方面空輸ニ関シ十月台湾沖航空戰ニ協力 第十野戰気象隊宮古島小隊 昭和十八年三月北陸ニ行第一師団ノ攻撃ニ空ニ協力ト共ニ沖縄中隊本部ニ気象報ヲ送信ス 四月下旬ヨリ台北第十野戰気象隊ニ気象報ヲ送信ス 四月下旬ヨリ沖縄中隊ノ予報勤務モ比較的閑散トナリタルモ悪然養ト人員不足ニヨリ全員極度ニ疲労シ終戰ニ至ル	終戰（又ハ主力戰斗終了）後ノ概況	総戰富時作戰中ノ粗悪ナ給養（一日百グラム）ト人員不足ニ基ク過激ナル勤務ニ基ク三分一ノ栄養失調患者発生シ三名ノ病死者ヲ出ス 気象業務ノ中止後ハ専ラ自活作業ニ努力ス 九月二十日小隊全員歩兵第三聯隊通信中隊ニ編属 爾後給養モ向上シ全員歩兵第三作力向上ス 昭和二十一年一月十一日乗船十七日上陸極メテ円滑ニ輸送ヲ完了ス	帰郷（又ハ復員）先	[redacted]	其他ノ参考事項	特殊ニ記載セシメ第一復員者ト共ニ史部ニ送付ス

最後ノ所属部隊ヲ主トシ尚ソノ以前ノ所属部隊ノ分ヲモ概記ス

帰還輸送ノ状況ヲモ併記ス

職ノ変更及主ナル参加戰斗名ヲ記ス

終戰時ノモノヲ記ス

摘要